







お花の栽培シリーズ「サツキ」

2011年6月	水無月(みなづき)・且月(しよげつ)・無水月(みなづき)・風待月(かぜまちづき)・鳴雷月(なるかみつき)	●梅雨で雨が多い時期
<p>●梅雨でジメジメとした日が続きます。 春の草花の切り戻しをして長く持たせたり、春花壇の片付けをして夏の準備を始めます。 ●雑草の多くなる時期ですので、こまめに除草をしましょう。</p>		
庭木の作業	・花の終わったアジサイやサツキの切り戻し。	
草花の作業	・春花壇を片付け、夏花壇へ模様替え ・チューリップやスイセンなど、春咲き球根を掘りあげて、保管する。	

今月の誕生花	クチナシ	
今月の花	<p>クチナシ 花言葉/私は幸せです 洗練 優雅 喜びを運ぶ 沈黙</p>	
	<p>クチナシはアカネ科の常緑低木。原産地は日本、台湾、中国、インドシナの暖帯、亜熱帯。季節は6～7月。花の色は、白。 クチナシは、花径5～10cmの花を枝先に1輪つけます。葉は厚く光沢を持ち濃緑色です。開花するとこの葉に映えるように純白の美しい花を咲かせ、素晴らしい香りを放ちます。庭木として重宝され、小さく切ったものはウエディングブーケとして使用されます。</p>	
	<p>名前のクチナシは、一重の花は実をつけますが、実が熟しても口を開けないことから「クチナシ(梔子)」と呼ばれています。英名は「ケープジャスミン」です。</p>	

お花の栽培シリーズ

今月の花 サツキ

<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>乾燥に弱い</p>	<p>気温</p>  <p>10～20℃</p>	<p>草丈</p>  <p>50～100cm</p>	<p>花色</p> 
--	---	---	---	--

サツキは江戸時代から園芸の歴史があり、鉢植えや盆栽として親しまれ、たくさんの品種が出回っています。1本で植えても群植してもよく、庭木や垣根としても利用することができます。剪定や植え替えなどの作業は、かならず花が終わった直後に行い、6月中には済ませるようにします。花芽は7~8月に分化するので、9月以降に剪定をするとせっかくついた花芽を落してしまいます。とくに弱っている株や老株ほど、早めに行う必要があります。秋に移植するときには、年内に株が定着するように、できるだけ早めに行います。乾燥に弱く、夏の高温の乾いた空気で生育が妨げられるので、とくに鉢植えの場合夏には1日2回水やりをして、湿度を保つようにします。耐寒性がありますが、新芽などは霜害を受けやすいので注意しましょう。



## ● 植えつけのやり方

【露地植え】



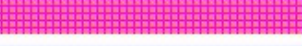
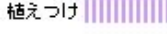
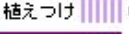



【鉢植え】



## ● 整枝・剪定のやり方



## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期 											
設置所	2~4月はとくに よく日に当てるとよい		屋外の日当たりがよい場所				屋外の半日蔭/ 露地栽培は 日よけをする			屋外の日当たりがよい場所 軒下 など		
水やり	表土が乾いたら与える (4~5日1回)		表土が乾いたら与える (1日1回)			湿度を保つようにする (1日2回)		表土が乾いたら与える (1日1回)		表土が乾いたら 与える (4~5日1回)		
肥料	① ビートモスを敷き、 化学肥料ひと握りばらまく					② 神箱に骨粉を3割ほど 混ぜたものか化成肥料を 2握りほど根元にばらまく			③ 神箱に骨粉を3割ほど 混ぜたものか化成肥料を 2握りほど根元にばらまく			
病害虫											20日おきくらいにスチアザメチル剤や スチアザメチル剤を散布する	
作業	植えつけ 		植えつけ  (鉢植え)			植えつけ 						
	※※※※※※※※※※ 防寒(関東以北)											
				整枝・剪定 						防寒 ※※※※		
	植え替え  (鉢植え)1年おき											